

文化学園服飾博物館
BUNKA GAKUEN COSTUME MUSEUM
<http://museum.bunka.ac.jp>

麻のきもの・絹のきもの

Ramie Kimono & Silk Kimono



麻のきもの・絹のきもの

Ramie Kimono & Silk Kimono

縄文や弥生時代の遺跡からの出土品や、「魏志倭人伝」の記述で知られているとおり、日本人は古代より衣服の材料として麻と絹を利用してきました。麻は高温多湿の日本の気候において良く育ち、絹もまた蚕蛾の育ちやすい環境である日本においては、自分たちで管理し身近に手に入られる材料でした。本展では、麻と絹、それぞれが糸となるところから、織られて布となり、着物になるまでの経過をたどり、それぞれの材料の特色や染織技術との結びつきを見ていきます。



夏の装い 大正時代～昭和時代初期



雑子 江戸時代後期



子供の着物 明治時代後期～大正時代



小袖 江戸時代中期



生糸の自動繰糸 長野県下諏訪町



からむし引き 福島県昭和村



鮫鱈の着物 昭和時代初期



仕事着 こびん 明治時代



文化学園服飾博物館
BUNKA GAKUEN COSTUME MUSEUM
〒151-8529 東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クイントビル
TEL.03-3299-2387 JR・京王線・小田急線新宿駅(南口)より徒歩7分
都営地下鉄新宿線/大江戸線/京王線新宿駅(新都心C1)より徒歩4分 地下道出入DO-1に隣接
学校法人文化学園
文化学園大学/文化ファッション大学院大学/文化服装学院
文化外国語専門学校/文化出版局/文化学園服飾博物館

【所蔵先】
生糸系(括)、ミズ原/岡谷製糸博物館
からむし反物「2000年の糸」、守橋、丸村/昭和村からむし工業博物館
からむし織機、からむし糸/東京市昭和村製糸公社
宇引まね・ヒメゴ/昭和村からむし生糸技術保存協会
絹反物、糸種、秤、紙/文化学園大学・染織研究室

撮影:文化出版局/安田和木

2017.1月6日(金) → 2月20日(月)

主催:文化学園服飾博物館
協力:(独)国立文化財機構 東京文化財研究所
開館時間/10:00~16:30 (1月20日、2月10日は19:00まで。入館は閉館の30分前まで)
休館日/日曜日、1月9日
入館料/一般500円、大高生300円、小中生200円
※20名以上の団体は100円引、障がい者とその付添者1名は無料
ギャラリートーク/1月14日(土)、2月11日(祝) 各回13:30~(12:30より受付順30名)
講演会/第11回 東京文化財研究所無形文化遺産部公開学術講座「麻のきもの・絹のきもの」
1月18日(水) 13:00~17:00 文化クイントサロンにて
共催:東京文化財研究所、文化学園服飾博物館